

「平成19年度事業報告」より

宍粟市社会福祉協議会は、5月28日第10回評議員会を開き、平成19年度の事業報告ならびに決算を確定しました。一般会計は、事業活動収支と経常収支ではじめて赤字決算となり、今後の社協活動の見直しなどを迫られることとなりました。



合併4年目 社協経営に黄信号!!

19年度の財政状況

決算状況をみると、収入は前年度と同水準であり、自主財源である「一般会費・賛助会費・善意銀行預託金」は、18年度水準を確保しました。とくに賛助会費については、18年度決算額を上回る状況で、とくに賛助会費は、山崎・千種支部で昨年より増額となりました。

しかし、善意銀行預託金は、山崎・一宮支部で昨年度を下回り、山崎支部においては前年度比 $\Delta 5.2\%$ 、全預託額の 26.5% と、他支部の預託状況に比べ低調となっており、山崎での預託推進が課題



となつていきます。(一宮 43% 、波賀 20.3% 、千種 10.2%)

はじめての赤字決算

支出は前年度に比べ費用が相当増えています。これらのことから、一般会計の事業活動収支は199万円の赤字。経常収支にいたっては897万円の赤字となり、当期活動収支差額も、 $\Delta 115$ 万円という大変きびしい決算状況となっています。

また、介護保険事業の事業活動収支は、全体で1千97万円の黒字ですが、福祉有償運送事業へ800万円の繰入を行ったことから、経常収支差額は440万円となり、前年度に比べ、2千268万円落ち込みました。

これは、今年度の介護保険事業の費用負担が昨年度より増えたことと、福祉有償運送事業への繰入が影響しています。

急がれる「社協改革」

このような状況と、宍粟市からの補助金収入が前年度比 1.5% 減の9千236万円であり、今後補助金削減は必至で

あることを考えると、社協の財政運営は非常に厳しいものになります。その点で、事業の見直しや節約、効率的な運営など「社協改革」の必要性が大きくなっています。

地域福祉経営の できる社協へ

また、職員の人事労務管理面では、合併時に調整した給与や就業規則等を現状に見合うものへ改正すべき状況となっています。とくに宍粟市からの人件費補助については21年度は相当厳しい削減が予定されています。19年度は人事考課制度の試行を行い、今年度から本格的な運用を行います。また、今年度は、人事労務管理、職員給与、財政活動、事業実施状況など各方面の諸課題を検討するために「社協経営検討委員会」を立ち上げ、地域福祉経営ができる社協をつくるための研究協議を始めます。

きびしさ増す活動財源

募金活動へのご協力を!!

平成19年度の主な社協活動の状況 (事業報告より一部掲載)

1. 社協の組織運営事業 (6,426万円)

- 理事会：9回、評議員会：3回、監事監査：2回
- 地域福祉推進委員会：2回(山崎・一宮・千種)、3回(波賀)
- 広報紙「こんにちは! 社協です!!」：毎月発行
- 一般会員：11,257世帯(一戸：1,000円)
- 賛助会員：985人97団体(一口：2,000円)
- 善意銀行へ金銭預託：20,501千円/物品預託：477件
- 職員人事考課制度の導入

2. 地域福祉活動推進事業 (6,867万円)

- 自治会別懇談会の開催：29自治会 623名参加
- 自治会福祉連絡会へ支援：157自治会 3,912,000円
- ふれあい活動の推進
 - ふれあいサロン：25か所99回
 - ふれあい喫茶：136か所667回
- 子育て支援事業の推進
 - 赤い羽根人形劇：4会場579名参加
 - 子育てサロン：16回1,326名参加
 - 子育て支援講演会：2回19名
- 配食(給食)サービス事業
 - 延べ配食数：17,359食 実施回数：331回
- 生活福祉資金貸付事業
 - 相談：28件、新規貸付：1件(延べ貸付：60件)
- まごころ福祉資金(小口資金)貸付事業
 - 相談：12件、新規貸付：8件(延べ貸付：50件)
- 介護用品斡旋事業
 - 利用件数：1,361件(月平均利用件数：113件)
- 福祉機器貸出事業 貸出利用件数：122件
- 福祉総合相談事業の実施
 - 心配ごと相談：155件、テレビ電話相談：3件
 - 無料法律相談：35件、介護福祉相談：233件
- 結婚相談・出会いサポートセンター事業
 - 結婚相談：相談受付件数140件
 - ふれあい交流会：参加28名(カップル成立2組)
 - 結婚できるセミナー：開催11回、延参加者67名
 - 出会いサポートセンター登録：11団体、6名
 - 出会いサポート交流会：開催回数2回、参加21名
- 短期里子受入事業の推進
 - 短期里子受入100人、受入家庭89件
- 共同募金配分金：10,109,000円
 - 配食・移送サービスの一部/子育てサロン・子育て支援事業・子育て講演会・赤い羽根人形劇/ひとり暮らし高齢者のつどい・介護者のつどいの一部/短期里子・小規模作業所助成/ふれあいコンサート・新春福祉映画会 など
- 共同募金運動への協力：募金総額10,656,037円
- 歳末たすけあい募金：3,275,637円
 - 歳末特別給食：697件、雪かき：381件、
 - 一人暮らし高齢者へのカレンダー配布：764件、
 - 子ども応援プログラム：6件
 - 歳末ふれあいコンサート：4会場494名
- 福祉教育指定校の指定：小、中、高校31校、福祉体験教室：51教室1,635人参加

3. ボランティア・市民活動 (2,575万円)

- アクティブシニア応援助成事業
 - 青春のフォークコンサート250名参加
 - 団体助成：グループ立ち上げ4団体、地域づくり4団体
- 災害救援マニュアル策定
 - 策定委員会1回、作業部会1回
- 登録ボランティア数：147グループ(2,201人)
- ボランティア活動に関する相談：2,609件
- ボランティア教室等の開催状況
 - ボランティア入門教室：6教室111人参加
 - ボランティア養成講座：5講座253人参加
 - サマーボランティア体験教室：14教室237人参加
- グループ運営の支援：センターに登録の継続的に活動のグループに対し活動費の助成を行う。
- ボランティア連絡会支援
 - 穴栗市ボランティアのつどい：メイプル福祉センター96名
- 市民活動、NPO支援
 - 福祉支援ネットワーク連絡会：5回開催

4. 介護サービス事業 (2億337万円)

- 居宅介護支援事業(4事業所)
 - サービス計画数：3,135件 月平均 261件
- 通所介護事業(1事業所)
 - 利用件数：864件 月平均 74.5件
- 訪問介護事業(4事業所)
 - 利用件数：1,234件 月平均 103件
- 訪問入浴介護事業(1事業所)
 - 利用回数：1,435回 月平均 119.5回
- 障害福祉サービス(居宅介護)
 - 利用件数：222人
- 苦情解決体制及び第三者委員の選任

5. 介護予防事業 (4,405万円)

- 生きがい活動支援通所事業「お達者クラブ」
 - 実施状況：延べ503回12,854人
- 生活管理指導員派遣事業「ヘルパー派遣」
 - 実施状況：38件
- 敬老会事業 実施状況：延べ3,651人参加

6. 公益事業その他事業 (2,402万円)

- 福祉有償運送事業(公益事業)
 - 外出支援(市受託)：延利用件数12,787件
 - 福祉有償運送：延利用者817人
- 葬祭用具貸出事業(公益事業)
 - 延貸出件数：11回(波賀)
- 駐車場経営事業(収益事業)
 - 山崎町中広瀬の土地を駐車場として活用

※事業見出しのあとの()は、19年度の支出額です。